

# 和泉市学力向上検討委員会について

学校教育室

## 1 概要

- 和泉市の令和7年度全国学力・学習状況調査の結果は、全国並びに府平均を下回っている現状。
- 和泉市学力向上検討委員会を設置し、既存施策の成果及び課題について分析を行うとともに、とりわけ多額の予算を費やしている「いずみ希望塾」「AIドリル」についての事務局の分析及び検証、教育委員会議での議論を踏まえ整理した内容について、有識者からさまざまな角度からの評価・助言をいただくことが有効であると判断し、意見聴取を行う。

## 2 委員会の構成

有識者：野田 健司（桃山学院大学人間教育学部人間教育学科 准教授）  
坂本 暢章（大阪教育大学附属学校統括機構 特別参与）  
山下 吉信（大阪教育大学キャリア支援センター キャリア・アドバイザー）  
座長：大槻 亮志（教育長）

その他、必要に応じて意見を聞くためのオブザーバーの出席を求める。

## 3 開催日程・テーマ

全4回の会議を開催（4月13日・5月・7月・10月）

	内容
第1回（4月13日）	既存施策等について 全国学力・学習状況調査結果の現状について いずみ希望塾・AIドリルの在り方と今後について
第2回（5月）	いずみ希望塾・AIドリルの方向性の整理
第3回（7月）	学校力向上伴走支援チーム等、現在の取組み及び状況について 参加識者からの提言等、意見交換
第4回（10月）	R9 予算要求に向けた整理 R9 以降の予算を伴わない取組みについて

## 4 その他

- 本会議は非公開として行う。
- 議事録の要旨は、各回終了後、できる限り速やかに公開する。

令和8(2026)年度

# 和泉の子どものために



こども未来室

## はじめに

全国的に進展する人口減少・少子高齢化は、本市でも最も優先的に取り組む課題と捉えています。本市ではこの課題に向け、性別や年齢、その他さまざまな違いを持ちながらも、住む人すべてが、本市の暮らしを「ちょうどいい」と感じられるような魅力と快適性に優れた、総合力のあるまちをめざしていきます。

このような中、本市では令和8年度に初めての公立認定こども園となる「北松尾こども園」が開園し、令和9年度には市北西部において、和泉保育園と国府幼稚園を統合した市内2園目となる「いずみ国府こども園」を開園します。

今後、両園では拠点園としての役割を検証・整理しつつ、子どもが安全・安心に過ごせるよう様々な取り組みをおこない、保育の充実など、より子どもたちと向き合う時間を確保することをめざします。

具体には、新たに、「野外活動体験」として、子どもたちが五感を使って自然感覚を身につけ、しなやかな心と体をつくるため、講師を招いた自然保育をおこなうほか、保育業務管理システム用パソコンの追加導入による連絡帳等のICT化、「午睡センサー」の1歳児クラスへの拡充を行うことに加え、保育支援者を全園に配置することにより、職員の業務負担軽減、子どもたちと向き合う時間の確保を行うものです。

また、令和8年度から「こども誰でも通園制度」が全国的に実施されることとなります。待機児童・保留児童の解消を優先取り組みとしつつも、公立園でのサービス提供も必要と判断し、一時預かり事業を実施している国府第一保育園と和泉保育園で「こども誰でも通園制度」を開始することとし、開始にあたっては、キャッシュレス決済を導入する予定です。

その他、令和8年度は、行政機構改革により、こども未来室が教育委員会所管から、市長部局に「こども・健康部」として再編成されます。このことについては、「こどもまんなか」を視点を、就学前にかかる子育てを一元的な施策として取り組むことを目的とするものですが、これまでの「教育・こども部」として重視していた「幼保こ小」の連携を軽視するものではありません。令和7年度では、「幼保小の架け橋プログラム」として、青葉はつが野小学校を中心に関係する公立園、民間園が集まり、モデルカリキュラムを整理したところで、令和8年度では、「和泉市こどもかけはし連絡会」として、小中学校・義務教育学校、公立園、民間園の全ての校長、園長の顔合わせ、連携の横展開の機会となる場の創出を行うことで、幼保こ小が円滑に連携し、子どもたちが小学校入学に向けて安心し、期待を持って就学できる環境を整えていきます。

「和泉の子どものために」は、就学前の保育及び教育における詳細を示した重要な方針です。常に「和泉の子どものために」を念頭に置きながら、すべての子どもたちが自己実現を果たし活躍できるよう、日々の保育・教育活動に邁進していただくことを期待します。

和泉市こども未来室

## <幼稚園・保育所・認定こども園に対する方針>

- 幼稚園教育要領、保育所保育指針及び認定こども園教育・保育要領に基づき、幼児教育及び保育の一体的な質の向上をめざし、次の3つの方針に沿って取組を進めていきます。

### I 幼児教育・保育の充実について

- 健やかな成長を促すためのさまざまな活動を通して好奇心や探究心を養います。
- 発達段階に即した指導を行います。
- 集団生活の中で、友だちや先生との交流を行います。

### II 幼保こ小の円滑な接続

- 幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との交流・連携を図ります。
- 就学前教育を終了した子どもたちが、安心して小学校に就学できる環境を整えます。
- 障がいや発達状況に配慮した支援の充実を図ります。

### III 家庭や地域における子育て支援の充実について

- 子育て家庭のサポート体制の充実を図ります。
- 発達段階に応じた家庭環境について学習する機会を提供します。
- 家庭、地域等との連携により、社会総がかりで育てる環境を育てます。

## I. 幼児教育・保育の充実について

- 乳幼児期における教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培うことであり、「資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を考慮して取り組むことが重要である。
- 乳児期は、視覚、聴覚などの感覚や、座る、はう、歩くなどの運動機能が著しく発達し、特定の大人との応答的な関わりを通じて、情緒的な絆が形成されるといった特徴を踏まえて、乳児保育は愛情豊かに、応答的に行うこと。また、子どもが生活や遊びの様々な場面で、主体的に周囲の人やものに興味を持ち直接関わっていきこうとする姿は「学びの芽生え」といえるものであり、生涯の学びの出発点にも結びつくものであることを念頭に保育すること。
- 保育所保育指針、幼稚園教育要領等及び認定こども園教育・保育要領を踏まえ、「生命の保持」及び「情緒の安定」に関わる保育を展開し、養護及び教育を一体的に行い就学前教育の充実に努めること。
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、子どもたちの主体的な活動や多様な体験を保障するとともに、友達や保育者とのやり取りなどで自らの考えを広げ、気づきや工夫をする体験が次の体験と結びついていくような環境を意識した教育・保育を行うこと。
- 近隣園との連携や、家庭、地域との協働による総合的な就学前教育の質の向上を図るなど、地域の実情に応じた具体的な取組みを行うこと。
- 発達に課題のある子どもや海外帰国・渡日した子ども、外国にルーツのある子ども等、一人ひとりの個性を尊重し、必要に応じて集団の中で個別の配慮や支援を行うこと。
- 教育・保育の質の向上に向けた研修等の充実に努めること。幼児教育アドバイザーを活用し、経験の少ない職員の育成及び園内研修等の活性化を図り、人材の育成に努めること。
- 野外活動体験では、自然体験を通して、子どもの五感を刺激し、情緒の豊かさ、好奇心や探求心、生命への敬意、協調性や思いやりを育むこと。
- 保育の周辺業務（昼食時の机や食事の運搬、食器の片づけ、コップ歯ブラシ洗い、布団敷き、玩具消毒、洗濯など）を担う保育支援者を活用し、子どもと向き合う時間を確保し、子どもの行動把握、怪我の防止、気持ちの変化の察知等に努めること。

○子どもと関わる時間の確保、教材研究、保育書類等において保育業務システム（ICT）を積極的に活用すること。

○午睡時の事故防止と安全管理のため、午睡センサーを活用すること。

○保育業務の軽減に向けて、連絡帳等の電子化をすすめること。

○「幼児教育推進指針」（平成 31 年 4 月改訂）

○「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」

（平成 29 年 3 月 厚生労働省 文部科学省 内閣府）

○「子ども・子育て支援法」（平成 24 年 8 月 内閣府）

## 幼児期の終わりまでに育って欲しい 10 の姿

- ①「健康な心と身体」 ②「自立心」 ③「協同性」
- ④「道徳性・規範意識の芽生え」 ⑤「社会生活との関わり」
- ⑥「思考力の芽生え」 ⑦「自然との関わり・生命尊重」
- ⑧「数量・図形、文字等のへの関心・感覚」
- ⑨「言葉による伝え合い」 ⑩「豊かな感性と表現」

「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「保育所保育指針」より

## Ⅱ 幼保こ小の円滑な接続

- 幼児の生活の連続性及び発達や学びの連続性を踏まえ、保育所・幼稚園等と小学校との円滑な接続が進むよう「架け橋プログラム」の実施に向け地域の実情に応じた具体的な取組みを行うこと。
- 「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）」（文部科学省）、「STF 和泉の学びにつながる架け橋プロジェクト」が作成した「和泉市スタートカリキュラムガイド」や「実践事例集」を活用し、小学校での各教科等の学びを意識しながら地域の実態に応じた活動内容の工夫や保育の充実に努めること。また、園児の成長や経過等の情報を引き継ぐ環境を整えること。
- 園児と児童の交流だけにとどまらず、幼保こ小合同研修会や保育体験（半日保育参加）・小学一年生の公開授業への参加等を実施し、ドキュメンテーションや事例検討など、具体的な子どもの姿から子どもの育ちを中心に据えた対話を通して、幼児期の子どもの相互理解・実践を深め、小学校以降を見据えた教育・保育を行うこと。
- 架け橋期のカリキュラムについては、幼保こ小が協働し、共通の視点を持って育成を目指す資質・能力を視野に入れながら策定すること。

- 令和7年度 和泉市かけはしカリキュラム（ベース案）
- 令和5年度「スタートカリキュラムチャレンジBOOK～実践事例集～（令和5年3月）  
「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引きの参考資料（初版）」  
（令和4年3月 文部科学省）
- 「和泉市スタートカリキュラムガイド」（令和4年1月）
- 「幼児教育推進指針」（平成31年4月改訂 大阪府教育委員会）
- 「幼児理解に基づいた評価」（平成31年3月 文部科学省）
- 「発達や学びをつなぐスタートカリキュラム」  
（平成30年3月 文部科学省・国立教育政策研究所・教育課程研究センター）
- 「スタートカリキュラム学びの接続モデルリーフレット」  
（平成30年3月 大阪府教育センター）
- 「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」  
（平成29年3月 厚生労働省 文部科学省 内閣府）
- 「スタートカリキュラムスタートブック」（平成27年1月 文部科学省）

### Ⅲ 家庭や地域における子育て支援の充実について

- 子どもの健やかな育ちを実現することができるよう、日々の保育実践の中で園児の保護者の子育てを支援するとともに、全職員の共通理解のもと、園・家庭・地域等社会総がかりで子どもを育むための取組みを進めること。
- 園庭開放や育児教室、子育て相談などの取組みを積極的に行い、園が家庭や地域に一層開かれたものとなるよう取り組むこと。
- 「こども誰でも通園制度」を実施するとともに、すべての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な成育環境を提供すること。
- 地域教育協議会に参加し、地域連携に積極的に取り組むこと。
- 公民ともに交流し、意見交換や情報収集に努め、教育・保育の質の向上に取り組むこと。

- 「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」  
(平成 29 年 3 月 厚生労働省 文部科学省 内閣府)
- 「子ども・子育て支援法」(平成 24 年 8 月 内閣府)

【参考】 令和8年度新規事業に係るこども未来室からのメッセージまとめ

1. 北松尾こども園は、拠点園の役割整理に協力願います。
2. 和泉保育園、国府幼稚園は、いずみ国府こども園開園準備に協力願います。
3. 国府第一保育園、和泉保育園では、「こども誰でも通園制度」、「キャッシュレス決済」の取組みに協力願います。
4. 野外体験活動を促進するよう、拠点園の位置づけがある。  
北松尾こども園、和泉保育園、くすのき保育園においては、各園年間2回、講師を活用した野外体験について、今後の全園展開に向けたモデル実施をお願いします。
5. 全園に保育業務管理システム用PCを追加導入するので、連絡帳等のデジタル化を推進願います。
6. 全園に1歳児対象の午睡センサーも導入し、保育支援者の配置も行うので、職員の負担軽減を図るだけでなく、こどもと向き合う時間も大切に願います。
7. 小中学校、公立園、民間園全てを包含した「和泉市こども架け橋連絡会」を創出するので、園を卒園する子どもたちが、円滑な学校生活を過ごせるよう、架け橋プログラムの取組み充実に協力願います。
8. 機構改革に伴い、保健給食業務、施設維持管理業務の窓口は、「学校園管理室」から「こども未来室」に変更となります。





Izumi 70th



Anniversary

コレクション特別陳列展  
(特別陳列)

北齋 × 広重

# 絶景! 頂上決戦

2026 4/12日 - 6/14日  
前期展示 4/12日 - 5/10日  
後期展示 5/12日 - 6/14日

入館料

一般 600円、高・大生 400円、中学生以下無料

※20名様以上、65歳以上は割引  
※各種障がい者手帳等を提示された場合、本人及び介助者1名様は無料



開館時間 午前10時 - 午後5時(入館は午後4時30分まで)  
休館日 月曜日(5月4日(月・祝)は開館し、5月7日(木)休館)



和泉市久保惣記念美術館

KUBOSO MEMORIAL MUSEUM OF ARTS, IZUMI

〒594-1156 大阪府和泉市内田町3-6-12 TEL:0725-54-0001 <https://www.ikm-art.jp>



ホームページ



公式入



公式 Instagram

くぼそ

検索



「東海道五十三次之内原」葛飾北斎筆  
享和4年(1804)頃

「諸国龍廻り下野黒髪山ゆきの滝」葛飾北斎筆  
天保4年(1833)



「富嶽三十六景 甲州伊沢峯」葛飾北斎筆  
天保3年(1832)頃

和泉市制施行70周年を記念して美術館が所蔵する浮世絵版画の中から、浮世絵師を代表し、特に風景画にすぐれた絵師、葛飾北斎と歌川広重の作品をご紹介します。題して、絶景！頂上決戦。北斎は広重よりおよそ40歳年長で、東海道を題材とする作品も広重に先駆けて制作しています。風景表現への関心は、やがて北斎の代表作である富嶽三十六景へと結実しました。富士山を画面いっぱいに捉えた大胆な構図から、遠景に小さく配したもので、変幻自在な構図は北斎の風景画の大きな魅力のひとつです。一方、北斎が富嶽三十六景を制作していた同時期、広重は版元保永堂から東海道五十三次を出版し、その名を広く世に知らしめました。広重の風景画の魅力のひとつは、街道を行き交う旅人や宿場で暮らす人々の姿を情感豊かに描きだしている点です。本展示会は両者の代表作である富嶽三十六景と東海道五十三次保永堂版を中心に、北斎と広重それぞれの風景画の魅力に迫ります。



「東海道五十三次保永堂版原」歌川広重筆  
天保5年(1834)頃

## 展示解説

4月25日(土)、5月17日(日)

いずれも午後1時より、展示室で学芸員による展示解説を行います。  
新館ラウンジにお集まりください。聴講無料(ただし美術館入館料が必要です)

## 浮世絵版画摺り体験

樹脂でできた版を用いて、手軽に重ね摺りの体験をしていただけます。

【開催日】4月18日(土)、19日(日)、5月4日(月・祝)、5日(火・祝)、5月16日(土)、17日(日)、6月6日(土)、7日(日)

【時間】午前11時～、午後3時～(各約1時間)

【場所】美術館新館ラウンジ 【定員】各10名(要当日申込)

【費用】200円(ただし美術館入館料が必要です)

## ミュージアムコンサート

【開場】午後1時30分 【開演】午後2時(全日共通)

【開催日】4月12日(日)、4月19日(日)、4月26日(日)、4月29日(水・祝)、5月3日(日)、5月4日(月・祝)、5月5日(火・祝)、5月6日(水・振)、5月10日(日)、5月17日(日)、5月23日(土)、5月24日(日)、5月30日(土)、5月31日(日)、6月6日(土)、6月7日(日)、6月13日(土)、6月14日(日)

ミュージアムコンサートは音楽ホール(Eiホール)で行い、美術館に入館された方はご自由にお聴きいただけます。当日美術館入口で午後1時30分より入館券(入館レシート)ご提示の方に配付する整理券が必要です。なお、先着120名様で入場制限を行います。全席自由。内容については美術館までお問い合わせください。

コレクション特別陳列展(特別陳列)「北斎・広重ー絶景！頂上決戦ー」は美術館・新館で開催します。新館ではあわせて西洋近代美術も展示します。本館では久保惣コレクションの中から国指定品(国宝・重文)を中心に展示いたします。新館とあわせてご覧いただけます。

美術館の入館料、図録・グッズの支払いに、現金決済に加えてクレジットカードや電子マネーなどキャッシュレス決済手続きが可能です。

【主な決済ブランド】

カード決済



交通系電子マネー

スマホコード



「名所江戸百景 するがふた」歌川広重筆  
安政3年(1856)



「五十三次名所図会(登陸東海道)岡崎」歌川広重筆  
安政2年(1855)



ホームページ



公式 X



公式 Instagram

# 和泉市久保惣記念美術館

KUBOSO MEMORIAL MUSEUM OF ARTS, IZUMI

〒594-1156 大阪府和泉市内田町3-6-12 TEL:0725-54-0001 <https://www.ikm-art.jp>



ホームページ



公式 X



公式 Instagram

## Access

### ■電車の場合

南海泉北線「和泉中央」駅下車、南海バス①乗り場より「美術館前」行、乗車(約10分)、バス停「美術館前」下車すぐ

### ■車の場合

阪和自動車道「岸和田・和泉」インターより約3分(無料駐車場有)

